

# 学術情報センターだより

Library and Information Technology Center, Nagoya Women's University

## 法人統合にあたって

——学術情報センター・図書館への期待——

越原 一郎 (学園長)

本学園は、大正4年(1915)に創立者である越原春子、和先生によりその礎となる名古屋女学校が築かれてより、90年余の歴史を刻むに至っています。創立以来の歴史的経緯から、中学・高校と大学はそれぞれ別法人で運営をしてきましたが、平成19年4月に2法人を統合し、学校法人越原学園として新しい歩みを始めました。

現在の大学の図書館は昭和25年(1950)に名古屋女学院短期大学が開学したのを機に誕生しましたが、当初は前身である緑ヶ丘高等女学校の資料に新たな資料を加えた2万冊足らずの蔵書での出発でした。その後昭和39年(1964)の大学開学によって名古屋女子大学図書館となり、現在では汐路、天白両館合わせて23万冊の蔵書を数えるまでになりました。

その内容は学科、学部の増設、大学院の開設によってその都度収集拡充した関連資料や、創立者である春子先生の志とも言える女性学関係の資料など、本学園の発展の過程を物語る幅広い分野に及ぶものに成長しています。

更にこの4月、中学・高校図書館が新校舎に移設開館するに際し、中高図書館の所蔵資料327冊を“高校寄贈文庫”として大学図書館へ移管しました。この中には、春子先生の縁故により昭和10年に本学園で講

演を行われたこともある尾崎罌堂翁の全集も含まれ、本学園の歴史を刻む資料として当時が偲ばれます。

情報処理技術の高度化に伴い、図書館は従来の書物の保存庫としての役割のみでなく、電子メディア情報の提供やそれらを集積可能にするIT環境が整備され、いわゆる電子図書館としての機能も併せ持つようになりました。

現在の「学術情報センター」は、従来の「情報科学センター」と「図書館」を合わせることによって、本学園の教育・研究支援のための情報収集・発信の中核としての機能を高めるべく、平成12年にその二つが統合し誕生したものです。

また、この学術情報センターでは、平成17年7月より名古屋女子大学中学校・高等学校生徒への施設開放を実施したので、以来のべ6,000人を超える学生、生徒の利用に供してきたとのことです。

今回の法人統合により、授業や進学指導といった具体的学習支援を行う中高図書館と、学術、研究機関としての大学の学術情報センターがそれぞれの役割を果たしつつ、一層の連携を深め、名実ともに学園の教育情報機関の中核としてさらに進展していくことを心から期待しています。

### ◎ 目 次 ◎

巻頭言「法人統合にあたって」	1
OPACに新しい機能が加わりました	2・3
コンピュータ演習室・自習室のシステム更新	4
利用者アンケートの結果から	5
図書館各種サービスの利用案内資料について	6
CD-ROMを使ってみよう	7
お知らせ	8

## OPAC に新しい機能が加わりました

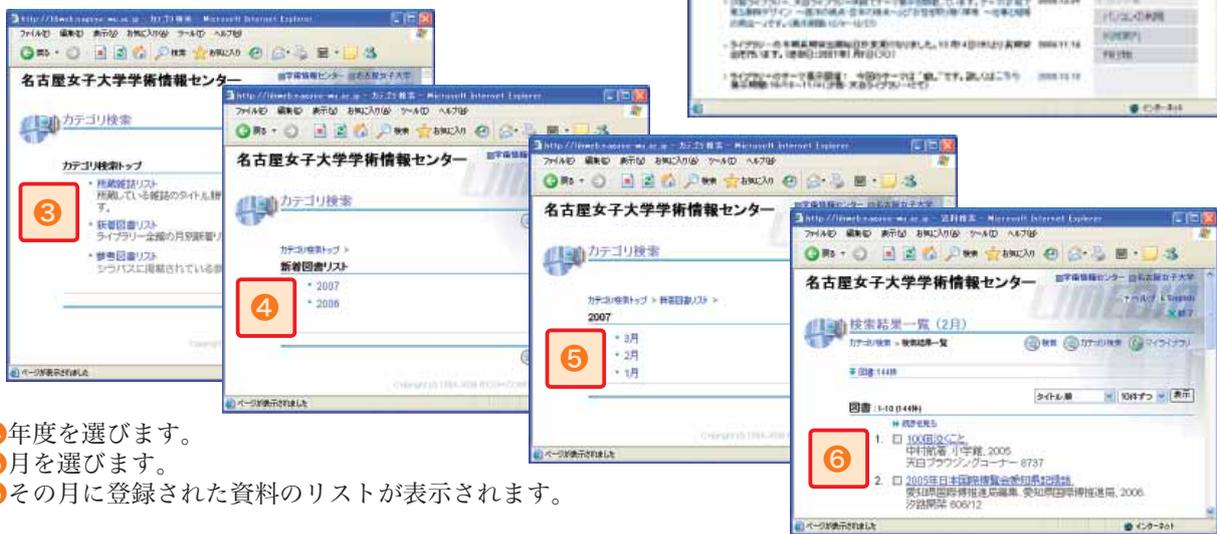
### 検索のキーワードを入力しなくても検索できます (カテゴリ検索機能)

OPAC では必ず何かキーワードを入れないと検索できませんでしたが、キーワードを必要としない「カテゴリ検索」が新しく追加されました。該当する箇所をクリックしていくと、条件に合う資料が自動的に検索されます。検索できるものは参考図書 (シラバスに掲載されている参考図書)、新着図書、所蔵雑誌です。新着図書は過去1年分が検索できます。また、参考図書はOPACだけでなく、シラバスからもリンクされています。

**〈手順〉**

学術情報センター HP URL: <http://lsic.nagoya-wu.ac.jp>

- ① 学術情報センターのTOPページから「蔵書検索 (OPAC)」または「図書館利用」の中の「蔵書検索 (OPAC)」をクリックします。
- ② 「参考図書・新着図書・所蔵雑誌リスト」をクリックします。
- ③ カテゴリを選択します。(例: 新着図書リスト)



- ④ 年度を選びます。
- ⑤ 月を選びます。
- ⑥ その月に登録された資料のリストが表示されます。

### 請求記号順に並び替えます

OPAC で検索した結果の“検索結果一覧”の並び順が、今まではタイトル順でしたが、出版年順に表示されるようになりました。新しく出版された資料が最初に表示されます。また、請求記号順に並び替えができるようになりました。多くの資料をまとめて書架へ探しに行く時などにご利用ください。

**〈手順〉**

- ① キーワードを入力して検索します。検索結果は出版年順に並びます。
- ② 「請求記号順」を選び「表示」ボタンをクリックします。



- ③ 請求記号の昇順に並び替わります。



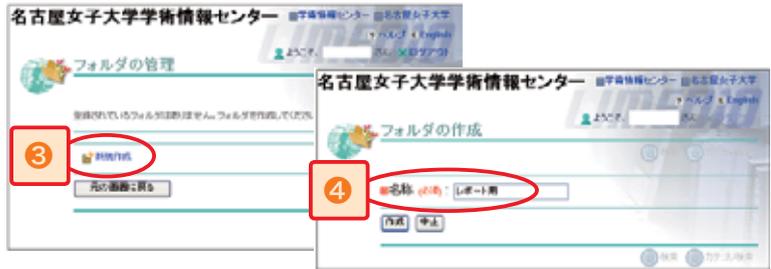
## ブックマークを保存できるようになりました (マイフォルダ機能)

OPACで検索した結果を、マイライブラリにブックマークとして保存できるようになりました。また、一冊ずつにコメントを入れることもできます。参考になった資料や読みたい本など、どんどんブックマークしてください。

〈手順〉

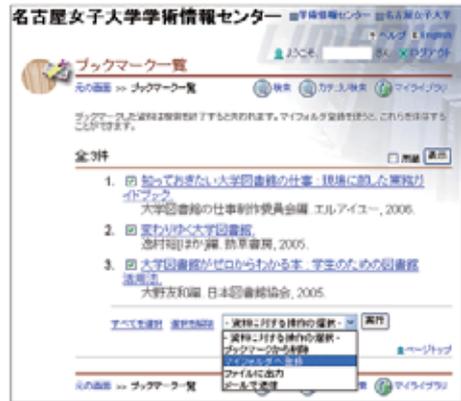
### マイフォルダの設定

- 1 「マイライブラリ」へログインしてください。
- 2 「マイフォルダ」の「マイフォルダ管理」をクリックします。
- 3 「新規作成」をクリックします。
- 4 フォルダの名称を入力し、作成をクリックします。(フォルダは100個まで作成でき、1つのフォルダには30件まで登録できます)
- 5 フォルダ名を変更または削除する場合は、フォルダ名をチェックして「変更」または「削除」ボタンをクリックしてください。



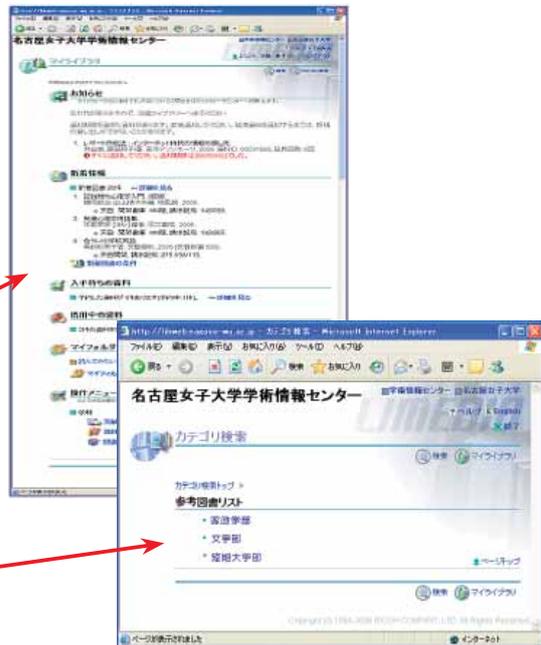
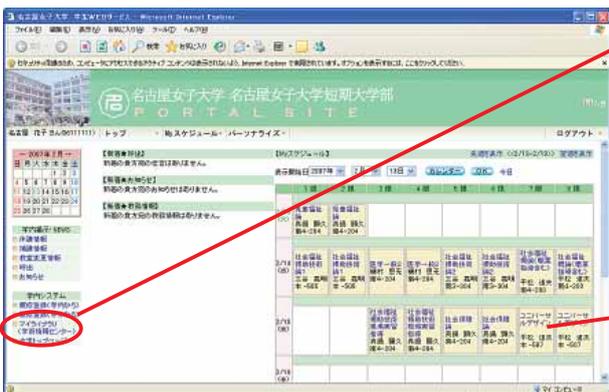
### ブックマークから利用する

- 1 「ブックマーク一覧」を表示し、操作したい資料のチェックBOXにチェックを入れます。
- 2 「資料に対する操作の選択」から、「マイフォルダへ登録」を選び、実行します。(マイライブラリにログインしていない場合は、ログイン画面が表示されますので、ログインしてください。)
- 3 フォルダを選択し、登録ボタンをクリックします。「新規作成」から新たにフォルダを作成することもできます。
- 4 登録した資料は、「マイライブラリ」の「マイフォルダ」から確認できます。



## 学生ポータルシステムからマイライブラリへアクセスできます

今年度より始動した学生ポータルシステムの画面から、図書館のマイライブラリへ簡単にアクセスできます。画面の左にあるライブラリをクリックすると、ユーザー名などを入力しなくても、マイライブラリへアクセスすることができます。また、時間割の授業名をクリックするとシラバスと参考図書一覧へのリンクが表示され、参考図書一覧へのリンクをクリックすると、図書館の参考図書リストにアクセスできます。



## ◆ コンピュータ演習室・自習室のシステム更新 ◆

平成19年4月、「表1 部屋別コンピュータ概要」に赤で示した計7部屋のコンピュータが新機種になりました。

表1 部屋別コンピュータ概要

部屋名	新機種	旧型機	総台数
南 2-101	○		14
南 2-102	○	○	24
南 2-103		○	37
南 2-201	○		57
南 2-202	○		61
南 2-301	○		61
中 402		○	59
天 2-409	○		55
天 2-425		○	65
天 2-427	○	○	12



図1 新しい天白2号館409教室

このコンピュータはデュアルコアのCPUを搭載するため処理能力が大幅に向上し、Officeは勿論のこと、画像処理のような高負荷なアプリケーションもストレスなくできるようになりました。モニターも全て17インチ液晶モニターになりました。

これらコンピュータの更新以外に、全てのコンピュータ演習室・自習室において下記三点のシステム更新を実施しました。

- 1) Officeのバージョンアップ (XP → 2003)
- 2) 印刷管理システムの導入
- 3) 再起動時の自動復元

印刷管理システムと再起動時の自動復元については、まだ馴染みがないと思いますので詳しく説明します。

### 印刷管理システム

従来、演習室では主にインクジェットプリンタを使用していました。インクジェットプリンタは速度・印刷品質の面でレーザープリンタには劣り、またインク切れや紙詰まりなどのトラブルが絶えませんでした。しかも一般のレーザープリンタでは、多人数で同時に印刷した場合、どれが自分の印刷物か分からなくなってしまうなどの問題があります。そこで、今回導入する印刷管理システムでは出力直前にプリンタ傍の指示端末

でユーザ認証するため、このような問題が起こりません。別教室のプリンタでも出力できるため、各演習室・自習室のプリンタを効率よく利用することができます。レーザープリンタのプリンタ用紙は学術情報センターで用意しますので、基本的に利用者は紙を持参する必要がなくなります。なお、授業中は認証せず端末指定のプリンタから印刷されます。



図2 印刷指示端末とプリンタ

### 再起動時の自動復元

演習室のような共用コンピュータでは、個々のコンピュータに重要なデータを置いたままにしたために個人情報が出たり、コンピュータをウイルス感染させてしまった際に後の利用者まで被害が及ぶなどの問題を抱えていました。これらの問題を解決するため、再起動するだけで利用前の状態に自動復元する仕組みを導入しました。今後は常に導入時と同じような快適な環境で、安心して利用できます。

### 新システム導入に伴うお願い

新システム導入に伴い、下記三点をお願いします。

#### 1. 必要データは外部メディア又はネットワーク上に保存

必要なデータはUSBメモリ・CD-Rなどの外部メディア、または個人用フォルダ(Sドライブ)・授業用フォルダ(Tドライブ)などのネットワークフォルダに保存してください。各コンピュータのデスクトップやマイドキュメントに保存したデータは、再起動時にPC内から消去されます。

#### 2. FD・MOのデータはなるべく別媒体に移行

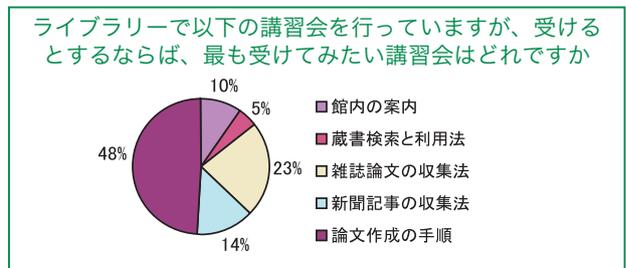
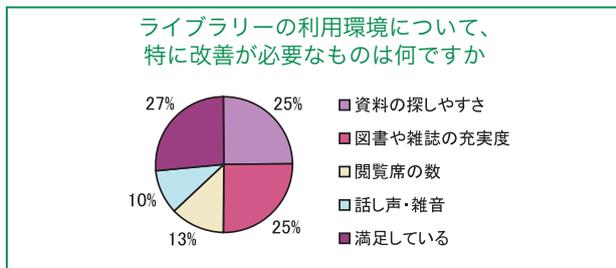
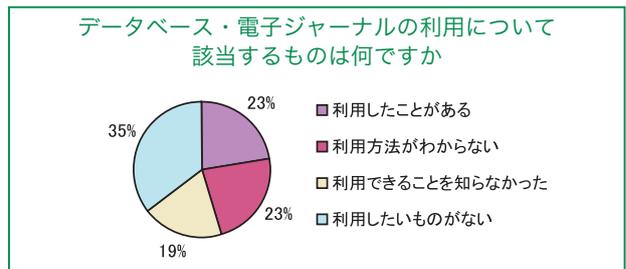
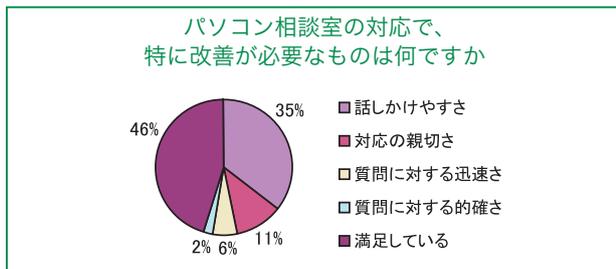
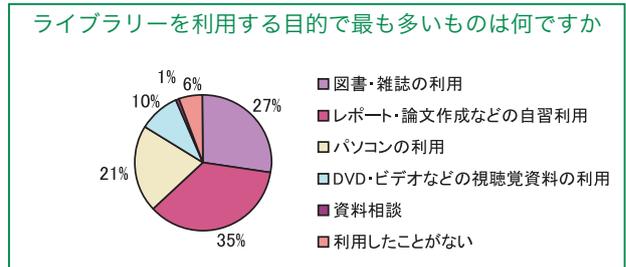
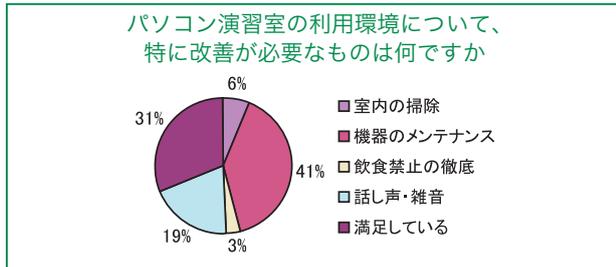
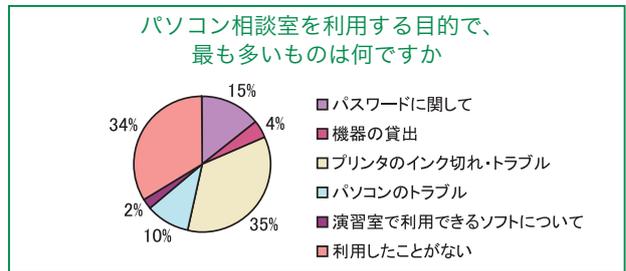
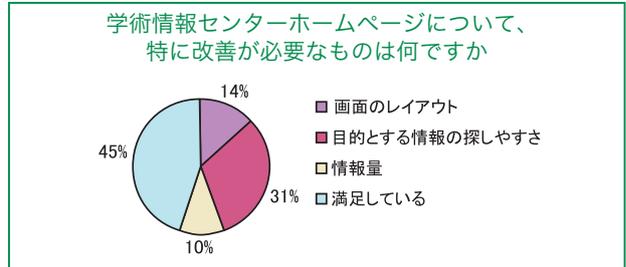
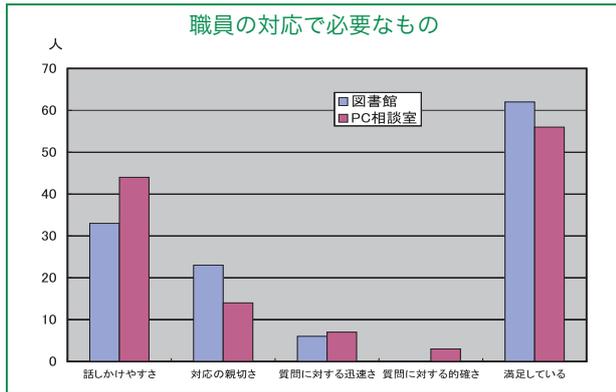
新規導入したコンピュータでは、旧式メディア媒体であるFD・MOを廃止しました。これらは、個人用フォルダ(Sドライブ)や低価格化が進んでいるUSBメモリ・CD-Rなどに移行した方が、利便性が高いからです。旧型機のある部屋(表1を参照)では引き続きFD・MOが利用できますので、FD・MOを使用する方は個人用フォルダやUSBメモリなどにデータを移してください。

#### 3. インクジェットプリンタの紙は自己負担です

インクジェットプリンタも引き続き利用できますが、こちらの紙は従来通り自己負担です。

## 利用者アンケートの結果から

学術情報センターの取り組みとして立ち上げた「利用者サービスプロジェクト」も平成 18 年度で 3 年目を迎えました。プロジェクトの活動として毎年利用者の皆さんにアンケートを実施し、その結果をもとに改善を実施してきました。平成 18 年度は学内に意見箱を設置するとともに、12 月に集中アンケートを実施しました。意見箱に寄せられた要望や質問はその都度回答をセンター内に掲示してお応えしています。今回は集中アンケートの結果についてご報告します。アンケート各設問の回答結果は以下のとおりでした。



スタッフの対応について改善すべき点は何かでは、図書館、パソコン相談室とも「満足している」という回答が前回までに比べ増加しました。各サービスに望むこととしては、パソコン演習室では機器のメンテナンス、図書館では資料の充実が相変わらず多く寄せられました。反面、図書館では講習会で論文の作成方法を実施してほしいといった要望が多く寄せられ、利用者の皆さんのよりステップアップしたサービスへの期待が増えたことも特徴的でした。学術情報センターではこの結果を受け、引き続き一層のサービスの向上を図って行きたいと思っております。今後も意見箱などを活用したご意見やご要望をお待ちしています。

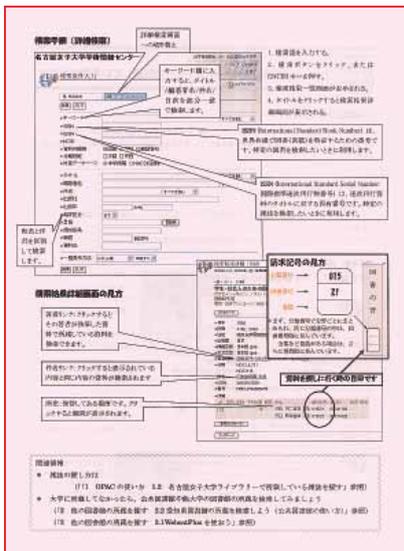
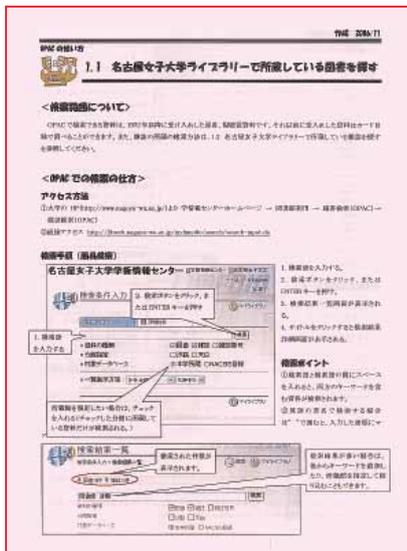
## 図書館各種サービスの利用案内資料について

図書館で提供されているサービスについて、「どんなものがあるのかわからない」「あることは知っているが使い方がよくわからない」などということはありませんか？ そんな疑問に答えるために、図書館では、A4サイズ一枚に両面印刷した利用案内資料を配布しています。

OPAC（蔵書検索システム）を使った本の調べかたや、図書館ホームページの便利な使いかた、各種データベースの使いかた、論文作成の手順、といった内容を、項目ごとに一枚の資料でまとめてあります。いずれも図をふんだんに使い、また実際に使うときの順序どおりに説明していますので、初めて利用するサービスでもこの資料さえあればすぐに使えるようになっていきます。汐路本館では第一閲覧室の入口正面、天白分館では情報コーナー付近に配布資料として置いてありますので、自由に持って行ってください。

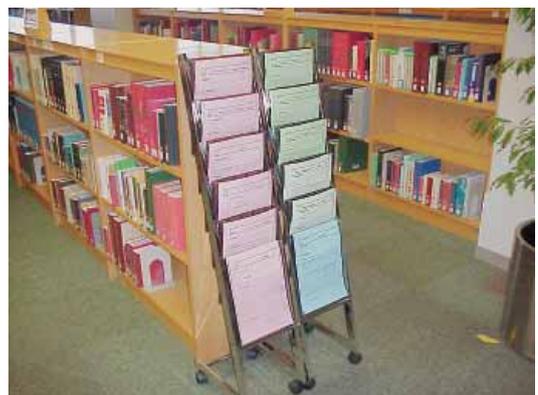
こうした利用案内資料は、今後も追加作成する予定です。「これがよくわからない」「こんなことが知りたい」ということがあったら、ぜひカウンターまで来てください。

サービス内容を、A4サイズの用紙両面一枚に収まるよう、簡単にまとめて紹介しています。画像をたくさん使い、順を追って説明していますので、ひと目で簡単に使い方がわかるようになっています。



汐路本館  
(第一閲覧室入口正面)

扱っているサービスの内容によって用紙の色が違います。



天白分館 (情報コーナー付近、参考書架横)

# CD-ROM を使ってみよう

図書館では、図書だけでなく DVD・ビデオ・CD-ROM などの視聴覚資料も多く所蔵しています。今回はその中から、案内やお知らせ、ポスターなどに利用できるイラスト集や写真集の CD-ROM を紹介します。

右下の「えんそくのおしらせ」やタイトルの飾り枠は「イラストコレクション part 2 (ピコロの CD-ROM)」(請求記号：376.14/37/2/CR42 所蔵：汐路) を利用して作成しました。キーワードを入力すると、それに合ったイラストが選択されてくるので、とても簡単にイラストを絞り込むことができ便利です。

その他、お便りや案内などのテンプレートがついているものは、レイアウトに悩まず文章作成ができて便利です。

福祉関係の CD-ROM には、写真の素材を集めたものもあります。

下記のような介護用品は、写真を使って説明すると分かりやすいのではないのでしょうか。



「フォト満タン 016 介護・福祉」より  
(請求記号：369.26/49/CR86-1,2 所蔵：汐路)



紹介した CD-ROM 以外にも、下記の CD-ROM が汐路・天白の各 AV コーナーにあります。また最近では、図書の付録として付いている場合も多くなってきました。皆さんも CD-ROM を利用して、効率的にポスターや案内を作ってみましょう。

タイトル	請求記号	所在
介護と福祉イラスト集：for Windows & Macintosh	369.26/40/CR46-1,2	汐路
介護福祉：スゴネタイラストパック	369.26/42/CR47	汐路
介護福祉 (超ネタ：24)	369.26/41/CR48-1～8	汐路
介護・福祉 (具満タンシリーズ)	369.26/44/CR50-1,2	汐路
介護・福祉 (MIXA Image Library：161)	369.26/43/CR53	汐路
イラスト満タン 017 介護福祉	369.26/50/CR87	汐路
介護・福祉 (満タンシリーズパック：008)	369.26/65/CR88	天白
イラストコレクション part 1 (ピコロの CD-ROM)	376.14/37/1,2/CR41	汐路
おたより 1 2 か月 (ピコロの CD-ROM)	376.14/38/CR43-1,2	汐路
育児保育 (イラスト満タン：011)	376.14/45/CR49	汐路
育児・保育 (具満タンシリーズ)	376.14/47/CR51-1,2	汐路
育児 Word で保育・ようちえん！ (お助けデザインシリーズ)	376.14/46/CR52	汐路
幼児と保育イラスト集：for Windows & Macintosh 1, 2	376.14/48/1,2/CR54,55	汐路
幼児と保育イラスト集：for Windows & Macintosh 2	727/199/CR56	天白

---

---

# お知らせ

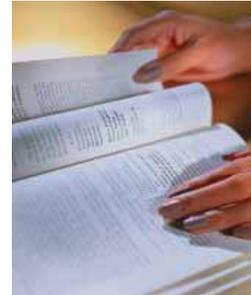
---

---

## ■各種講習会について

図書館では、所蔵資料を有効に活用してもらうための各種講習会を開催しています。新入生の皆さんには、基本的な資料の探し方と館内の案内。ゼミ生や院生の皆さんには、レポートや論文執筆に必要な論文の集め方や資料の取寄せ方法などを説明しています。講習を希望される方は、希望日の1週間前までに図書館カウンターにお申し込みください。申し込みは随時受け付けています。

また、個人での相談も受け付けていますので気軽に声をかけてください。



## ■視聴覚資料の貸出について

今年度より、動画を含まないCD・CD-ROM・カセットテープなどの視聴覚資料（一部を除く）を貸出します。P7で紹介したイラスト集などのCD-ROMもありますのでご活用ください。

視聴覚資料はAVコーナーに配架しています。



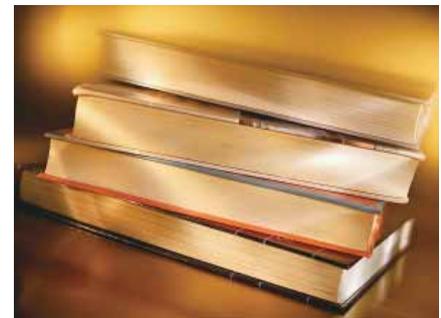
## ■小説類の配架について

小説・エッセイなどの読み物的な図書は、汐路は第2閲覧室（1階）、天白はブラウジングコーナーにあります。作家の50音順に色分けされて並んでいますのでご利用ください。

貸出し手続きは、専門図書と同じく各カウンターで行ってください。

## ■図書館休館日

- \* 日・祝祭日
- \* 蔵書点検期間 8月6日(月)～8月11日(土)
- \* 夏期一斉休暇期間 8月13日(月)～8月17日(金)
- \* 大学祭 10月5日(金)・6日(土)
- \* 推薦入試 11月17日(土)・24日(土)
- \* 年末・年始 12月28日(金)～1月4日(金)
- \* センター入試 1月19日(土)
- \* 一般入試 2月1日(金)～2日(土)・2月28日(木)
- \* システム調整日 3月31日(月)・4月1日(火)・4月2日(水)



開館予定に変更が生じた場合は、学術情報センターホームページ及び掲示板でお知らせします。

---

名古屋女子大学 学術情報センターだより 第49号 発行日：平成19年5月1日

発行：名古屋女子大学学術情報センター  
〒467-8610 名古屋市長穂区汐路町3-40

●図書館 TEL (052) 852-9768  
●システムサービス TEL (052) 852-1120

---